

## 努力賞

ココロ屋

荒川区立汐入東小学校二年

樋口 結人

やなぎ田くに男先生こんにちは。

ぼくは、「ココロ屋」という本を読みました。

この本は、しゅ人ここのひろきは、友だちとけんかをしていつも先生にいられています。教室からにげ出すと、ふしぎなドアがあらわれて、「ココロ屋」のしゅ人、ウツロイはかせに会うという話です。少し長い話だけど、がんばって読みました。

ひろきは学校が大すきなのに、けんかするつもりがないのにもしかられていて、こっそりない

ているばめんがつかなくてぼくもかなしくなりました。

でも、ウツロイはかせに会って、ココロをこうかんすることになりました。

やさしいココロになったひろきは、もうしかられませんか。でも、やさしくなりすぎて、いやと言えなくなりまたにげ出してしまいました。

ひろきはクラスの人気ものになりたくて、またココロ屋へ行ってなん回もココロをこうかんしてしまいました。

でも、けっきょくうまくいなくて、ココロがヒリヒリいたみだしました。

ぼくはこの本を読んで、ひろきのココロはかん

べきじゃないから先生にしかられたり、友だちとけんかをしてしまうけど、さいしょからかんぺきな人はいないと思いました。

しっばいしたらはんせいして次にがんばろうと思えばいいと思います。

ぼくもしかられることはあるのでひろきの気持ちに分かります。

ぼくにもいろんなココロがあります。まい日気持ちもかわります。ぼくは学校で友だちとあそぶのがすきなので、その時は「楽しいココロ」になります。

これからたくさんせい長して自分のココロを大きくしていきたいです。